

報道発表資料

令和2年5月8日
独立行政法人国民生活センター

「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の受付状況（第1報）

- 通帳やマイナンバーなどは、絶対に教えない！渡さない！ -

国民生活センターでは、新型コロナウイルス感染症対策の給付金等に関する消費者トラブルの相談を受け付けるため、5月1日（金曜）より「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」（相談受付時間：10時～16時（土曜、日曜、祝日を含む）、相談特設番号：フリーダイヤル0120-213-188）を開設しました。

今回、「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の開設から1週間分の受付状況を速報としてとりまとめました。

1. 相談件数

「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」では、5月1日（金）～7日（木）までの1週間で466件の相談を受け付けました。特別定額給付金等の申請方法など給付金関連の相談件数は432件で、そのうち給付金等の詐欺が疑われる相談件数は12件でした。

受付日	受付件数	給付金関連の 相談件数	給付金関連以外の 相談件数
5月1日（金）	84	73	11
5月2日（土）	49	40	9
5月3日（日）	62	60	2
5月4日（月）	54	51	3
5月5日（火）	64	62	2
5月6日（水）	56	52	4
5月7日（木）	97	94	3
合計	466	432	34

※相談件数には、問合せを含む。

2. 給付金等の詐欺が疑われる相談事例

【事例1】給付金の手続きができると思いアクセスしたサイトに、マイナンバーカードの情報を教えてしまった

昨夜、タブレットを操作していたところ、10万円給付しますという案内を見つけ、特別定額給付金の手続きができると思い、サイトにアクセスした。画面の指示に従ってマイナンバーカードのパスワードを入力し、タブレットの後ろにマイナンバーカードを置き確認ボタンを押した。怖くなってインターネットの接続を切った。マイナンバーカードの情報を不正利用されないか心配だ。

(相談者：70歳代 男性)

【事例2】高齢の母が訪問してきた誰かに銀行通帳やマイナンバーカードを渡してしまった

4月末に、貴重品をまとめて入れているアタッシュケースがなくなっていることに気づいた。ケースの中には複数の銀行通帳、キャッシュカード、保険証券等を入れていた。同居している母にたずねたところ、誰かが訪ねてきて渡したという。母は認知症気味で、問いただしても状況はよくわからない。ケースとは別に健康保険証と一緒に保管していた母のマイナンバーカードがなくなっていた。母が渡したという。定額給付金の支給に合わせてだまし取られたのだと思う。マイナンバーカードには暗証番号も書いておいたと思う。悪用されることを止める方法はあるか。

(相談者：30歳代 女性)

その他、「登録してもないのに、役所からメールで特別定額給付金の手続きが始まったと案内が来た」「携帯電話会社を名乗るメールが届き、記載のURLにアクセスして特別定額給付金の申請をするよう案内された」などの相談や、持続化給付金に関連した相談も寄せられています。

3. 消費者へのアドバイス

- 暗証番号、口座番号、通帳、キャッシュカード、マイナンバーは「絶対に教えない！渡さない！」
- 市区町村や総務省などが以下を行うことは絶対にありません！
 - ・現金自動預払機（ATM）の操作をお願いすること
 - ・受給にあたり、手数料の振込みを求めること
 - ・メールを送り、URLをクリックして申請手続きを求めること
- 「怪しいな？」と思ったらご相談ください
 - ・消費者ホットライン：「188（いやや!）」番
最寄りの市区町村や都道府県の消費生活センター等をご案内する全国共通の3桁の電話番号です。

- ・「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」：0120-213-188（10時～16時）
http://www.kokusen.go.jp/info/data/coronavirus_khotline.html
- ・お住まいの市区町村
- ・お近くの警察署
- ・警察相談専用電話 #9110

（参考）※2020年5月8日時点

- ・特別定額給付金コールセンター（総務省）：0120-260-020（9:00～18:30）
<https://kyufukin.soumu.go.jp/ja-JP/index.html>
- ・持続化給付金事業 コールセンター（経済産業省）：0120-115-570（8:30～19:00）
<https://www.jizokuka-kyufu.jp/>